

(一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

令和 6・7 年度 第 6 回理事会議事録

令和 7 年 4 月 20 日(日) 13:00~15:35 (臨床耳鼻科医会会議室)

出席者 会長：川寄良明 副会長：川島佳代子、野上兼一郎、藤岡 治

理事：朝比奈紀彦、麻生 伸、大滝 一、塩見洋作、玉木克彦、中川尚志、

中澤 宏、松岡 徹、宮部和徳、吉村 理、

(zoom 参加) 阿部博章、永田博史、横田雅司

監事：浅井英世、高原哲夫(計 19 名) 事務局：井出あゆみ、平間妙子

会長挨拶

日本臨床耳鼻咽喉科医会設立および 5 周年記念式典・祝賀会が盛会のうちに無事執り行えたことに謝意を示す。今回は定時代議員会のための理事会であることを申し添える。

協議事項

1. 令和 6 年度事業報告案について(松岡理事)

【協議 1】

- ・令和 6 年度事業報告案を提出し、協議の結果、下記の項目について一部修正と追加の後に承認された。
- ・報告会議は日耳鼻理事会報告会議とした方が良いと考える。(野上副会長)
→日耳鼻理事会報告会議と修正する。(松岡理事)
- ・「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」、「日本医師会社会保険診療報酬検討委員会」への出席を追加する。(川寄会長)
- ・日付の元号について、簡素化を図るため当該年は省略し、翌年のみ開催された場合は元号を記載することとなっている。(藤岡副会長)

2. 令和 6 年度財務諸表について(塩見理事)

【協議 2】

- (1) 経常収益計は 44,759,591 円であった。
- (2) 経常費用の事業費計 9,868,226 円と管理費計 33,189,398 円により、
経常費用計は 43,057,624 円であった。
- (3) 当期経常増減額は 1,701,967 円となり、未払い法人税の 70,000 円を差し引いて、
当期一般正味財産増減額は、1,631,967 円となる。
- (4) 一般正味財産期首残高の 63,831,974 円にこれを加えて、一般正味財産期末残高は
65,463,941 円、指定正味財産はないため、正味財産合計は 65,463,941 円となる。
- (5) 翌年度会費などの負債合計が 70,507,388 円あり、負債及び正味財産合計は 135,971,329 円
となる。
- (6) 財務諸表を提出して内容を説明し、質疑応答の後承認された。
 - ・委託費の減少理由は如何か？(川寄会長)
→今年度の委託費には、会員管理システムの初期費用や HP 設定費用などがないことから減少した。(事務局平間)
 - ・正味財産増減改革書で、受取会費に令和 7 年 4 月からの資格である C 会員の記載があるのは何故か？(野上副会長)
→会費は前納制なので、令和 7 年度会費として C 会員からも受け取っている。(塩見理事)

- ・事務局移転についての予定は如何か？（川寄会長）

→移転時期は2027年であったが諸般の事情により5年ほど遅れる見込みである。また、地価高騰のおり敷地権利の買い増しが必要になると考えられるが、売却希望物件は少ないことが予想されている。（藤岡副会長）

→日耳鼻財務委員会でも同様に検討されている。（中川理事）

3. 令和6年度会計監査報告（浅井監事）

- ・令和7年4月17日に、臨床耳鼻科医会会議室において、浅井、高原両監事が監査を行った。
- ・監査の結果、事業報告および付属書類は法人の状況を正しく示していることを認めた。
- ・監査の結果、計算書類その付属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況を適正に示していることを認めた。
- ・監査報告書を会長宛に提出した。
- ・監査報告を受け、適正に監査されていることを承認した。（川寄会長）

4. 令和6年度定時代議員会の日時及び場所並びに目的である事項等（藤岡副会長）【協議4】

- (1) 令和6年度定時代議員会を協議資料のごとく開催予定である。
 - (2) まずは、お知らせをメールで周知し、正式文書は郵送する。
 - (3) 開催内容及び代議員への周知方法につき提示され、内容確認後承認された。
- ・今年度は午後からの開始となるので注意を要する。（藤岡副会長）
 - ・議事録署名人はどの様に選定するのか？（川寄会長）
→出席者の中から相応な代議員を議事録署名人として選出する。（藤岡副会長）

5. 定款改訂について（非就業会員の会員種別について）（松岡理事）

- (1) 継続審議となっていた非就業会員の会員種別について協議した。【協議5-1】
 - ・第3章会員（会員の資格）第5条（2）B会員の文末を「次のいずれかの者」とし、項目「①医療機関勤務者」へ変更および「②A会員に該当しない者」を追加する改訂を協議し承認された。
 - ・A会員およびB会員は医師であることを明記するため、「日耳鼻の会員」を「日耳鼻の正会員」へと変更することが協議され承認された。
 - ・定款の表記については、司法書士の中野先生に確認を取ることをもって承認された。

(2) 令和6年度定時代議員会への改訂提出資料について【協議5-2】

- ・令和6年度理事会で協議された定款改訂をまとめ、令和6年度定時代議員会へ提出する「定款改訂対照表」につき協議し承認された。
- ・継続審議となっていた非就業会員の会員種別を含め、A会員とB会員は医師である旨の表記も加えて代議員会への提出資料とすることが承認された。

6. C会員への異動希望者（2名）について（松岡理事）【協議6】

- (1) 兵庫県の福田郁夫会員（兵庫県元A会員）からC会員への異動希望があった。
 - ・令和5年3月1日の臨床耳鼻科医会退会届取り下げとC会員への異動希望につき協議し、令和5年度と令和6年度の会費を納入することを含めて承認された。
- (2) 兵庫県の吉田一富会員（兵庫県元A会員）からC会員への異動希望があった。
 - ・令和5年3月1日の臨床耳鼻科医会退会届取り下げとC会員への異動希望につき協議し、令和5年度と令和6年度の会費を納入することを含めて承認された。

7. 会員管理・決算管理システム業者の選定について（塩見理事・松岡理事）【協議7-1～7-4】

(1) システム業者との面談結果について（塩見理事）

- ・昨秋、5 社（シュクミネット、スマートコア、SMOOSY、アトラス情報サービス、NTY 情報処理）と web 面談し、1 社（SOUBUN.COM）とメールで情報収集した。
- ・会員管理、イベント管理機能に大きな差はなかったが、会費徴収とメール送信機能に差があった。

(2) 都道府県医会長宛の会員管理システムに関するアンケート調査結果について（塩見理事）

- ・各都道府県医会のニーズを知るため、各医会長宛にアンケートを実施した。
- ・会費徴収システムに関しては、有料でも 30%、無料を含めると 46%で利用希望があった。
- ・メール送信に関しては、有料でも 34%、無料を含めると 61%で利用希望があった。

(3) システム業者 6 社の比較について（塩見理事）

- ・初期費用に差はあったが、月額利用料については差がなかった。
- ・臨床耳鼻科医会からの一斉メール送信やクレジット決済などを含めた会費徴収が可能で、各都道府県の会費を独自に徴収でき、都道府県単位での独自のメール送信が可能となるシュクミネットが、臨床耳鼻科医会の会員管理・決済管理システムのニーズに最も合致すると考えられた。

(4) 第 1 回および第 2 回経理・会員福祉、庶務合同委員会報告について（松岡理事）

①臨床耳鼻科医会から会員への一斉メール送信を、遅くとも令和 7 年度中に開始するよう努めることが第一目標となった。

- ・都道府県毎のメール送信については、希望のある都道府県から試験運用を行うこととする。

②カード決済等による会費徴収については、臨床耳鼻科医会の会費徴収システム使用を希望する都道府県から試験運用とし令和 9 年度分年会費徴収から開始することを目標とする。

・メール送信にはファイル添付機能があるか？（野上副会長）

→ダウンロードが必要なファイルなどは、システムのホームからの一斉告知機能を使用することで、ファイル添付の負担を減らすことができる。（松岡理事）

・業者の選択肢がないのを少々残念に思う。（中澤理事）

→臨床耳鼻科医会と各都道府県医会それぞれで会員管理を行う機能が必要となるので、多くの業者を選択することができなかった。（松岡理事）

・臨床耳鼻科医会からの一斉メール送信に加え、各都道府県のメール送信機能を用意する必要があるか？（阿部理事）

→各都道府県医会が会員管理を行う機能に各医会の会費徴収機能やメール送信機能が付属していて、各医会のメール送信機能を特別に用意しているわけではない。（松岡理事）

→大量のメールを確実に同時に送信するには、高度な技術が求められる。よって、メール送信機能は必要と考える。（塩見理事）

・会員管理・決済管理システムは最初からフル装備構築で使っていくのか、それとも順次構築しながら使っていく予定なのか？（吉村理事）

→最初はメール送信機能から使い始め、決済管理システムの使用を希望する都道府県から順次使用を始めていく予定である。（松岡理事）

・日耳鼻と同じようにマイページにより個人情報管理を考えるとすれば良いか、また会費の決済手数料は会員負担となるか？また会費の値上げは必要ないのか？（吉村理事）

→会員情報は会員個人が管理することとなり、決済手数料は臨床耳鼻科医会が負担すると

考えている。会費の値上げは不要と考える。(松岡理事)

- ・現行では、都道府県単位での管理機能の費用は、高額ではないため臨床耳鼻科医会が負担する考えである。(藤岡副会長)

(5) 会員管理・決済管理システムとしてシュクミネットと契約に向けての詳細を打ち合わせる
ことが提案され、承認された。

8. 福祉医療・乳幼児委員の追加承認について (麻生理事) 【協議 8】

- ・あいち小児保健医療総合センター・耳鼻咽喉科の江崎友子先生を乳幼児委員に加えることを提案し、承認された。

9. OTC 類似薬の保険適用除外に関する要望書について (川寄会長) 【協議 10】

- (1) OTC 類似薬の保険適用除外に関する要望書を、日耳鼻の大森理事長と連名で提出することを準備中である。
- (2) 厚生労働大臣の福岡資麿氏と自民党社会保障制度調査会会長の田村憲久氏への提出となる。
- (3) 上記要望書の内容が提示され、提出につき承認された。

報告事項 (委員会および地域ブロック)

1. 庶務委員会 (松岡理事)

- (1) 令和 6・7 年度第 5 回理事会議事録 (2025. 3. 23) について報告した。 【資料 1-1】
- (2) 令和 7 年 3 月 31 日までの入会・退会・異動および会員数を報告した。 【資料 1-2】
 - ・入会 35 件、異動 37 件、退会 63 件があり、令和 7 年 3 月 31 日現在 A 会員 4,205 名、B 会員 2,916 名、計 7,121 名であった。
 - ・令和 7 年 3 月 23 日からの会員数増減は、A 会員 22 名減、B 会員 9 名減、計 31 名減であった。
- (3) 都道府県別 AB 別会員数一覧 (2025. 4. 1) について報告した。 【資料 1-3】

2. 広報委員会 (中澤理事)

- ・HP のリニューアルが完成しアップした。不備な点が多く業者に訂正依頼中である。

3. 経理・会員福祉委員会 (塩見理事)

- (1) 令和 7 年 3 月末までの会計報告について 【資料 3-1、3-2】
 - ・収入に関しては、令和 6 年度会費の追加分納入と会報誌の広告収入、令和 7 年度会費の前受金の入金があった。未納は 3 県で、さらに 4 月 13 日の記念式典会費前納入があった。
 - ・支出は、理事会、報告会議、委員会の旅費交通費、雑費の振込が主であった。

4. 地域医療委員会 (横田理事)

- (1) 災害医療について 【資料 4-1】
 - ・医会・学会として災害医療にどのように係れるかを検討するため、令和 7 年 4 月 3 日災害医療に携わった経験のある先生方に参加して頂き Zoom で会議を行った。
 - ・災害時各都道府県に設置される災害対策本部と連携の取れる組織を作りたい。
 - ・災害医療は日医や JMAT との関係性もあるのでよろしくお願いしたい。(川寄会長)
- (2) 第 10 回新型コロナウイルス感染拡大に伴う外来診療アンケート調査報告 【資料 4-2】
 - ・いまだに患者数がコロナ禍前に回復していない、また収入減少により経済的にも困窮している施設があるという結果であるが、アンケートの回答は 769 件 (約 18%) で、回答が

得られなかった約 82%にも当てはまるかは分からない。

- ・定期的な医院経営などの調査は必要であり、その中へコロナ禍の影響を入れていくとアンケートの回答率も上昇すると考える。(川寄会長)

→医院の経営状況調査も事業計画に含まれているので、それも含めて検討していきたい。(横田理事)

5. 保険医療委員会（玉木理事）特になし

6. 学校保健委員会（朝比奈理事）

- ・令和 7 年 11 月 22 日（土）パシフィコ横浜ノースにて、神奈川県医師会担当で第 56 回全国学校保健・学校医大会が開催される。当日は日耳鼻秋季大会が同じ敷地内のパシフィコ横浜会議センターで開催されるが、午前中（10 時～12 時）の耳鼻咽喉科分科会への参加をご検討願いたい。

7. 福祉医療成人老年委員会（大滝理事）

- ・大阪市をはじめとして全国で補聴器購入費用助成実施自治体が増えている。

8. 福祉医療乳幼児委員会（麻生理事）特になし

9. 医療安全・医事問題委員会（阿部理事）特になし

10. 勤務医委員会（永田理事）

(1) 第 2 回勤務医アンケート（再実施）の進捗状況について

【資料 10】

- ・第 5 回理事会で報告したとおり、「第 2 回勤務医アンケート」を行い 3 月 3 日（月）から 3 月 16 日（日）までに 309 件の回答をいただいた。しかし、管理ミスにより回答の一部が削除されてしまい結果を回復できない事態が生じてしまった。そこで、同じ内容のアンケートを再度 B 会員に依頼し、3 月 24 日（月）から 4 月 13 日（日）までに回答を依頼した。
- ・4 月 13 日までに 235 件の回答があり、アンケート回答期限を 4 月 30 日（水）まで延長した。
- ・4 月 20 日時点で、310 件の回答があった。回答締め切り後より解析を行う予定である。
- ・ご協力いただいた野上副会長に御礼を申し上げる。

11. 学術委員会（吉村理事）

- ・第 6 回医会セッションにおける城守国斗先生の正式な演題名が、「かかりつけ医機能報告について～耳鼻咽喉科医の観点から～」と決定した。

12. 会報委員会（宮部理事）特になし

13. 地域ブロックから（今回はなし）

14. 川寄会長より

(1) 武見敬三議員との面談について（令和 7 年 4 月 10 日）

【資料 14-1】

①臨床耳鼻科医会から以下の 4 点の要望を提出した。

- ・在宅医療における検査・処置の評価
- ・内視鏡下嚥下機能検査の増点
- ・外来管理加算より低い点数の処置点数の増点
- ・純音聴力検査・語音聴力検査の増点

②日耳鼻から以下の 6 点の要望を提出した。

- ・咽頭腫瘍手術（鏡視下）
- ・喉頭腫瘍手術（鏡視下）
- ・センチネルリンパ節生検術（頭頸部悪性腫瘍）

- ・内視鏡下上咽頭擦過療法
- ・耳鳴指導管理料
- ・末梢前庭障害性めまい疾患指導管理料

(2) 医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会について（令和7年4月18日） 【資料14-2】

- ・石破茂総理に宛て自由民主党国会議員および自由民主党衆議院支部長、合わせて306名の署名を添えて要望書を提出した。

その他

OTC類似薬の保険適用除外が実施された場合に生じる事態についての院内掲示、または患者さんへの配布資料については、現在医会のHPに掲載している。自院でも院内掲示および患者さんへの配布を行っているが、患者さんの関心は高くない。そこで、スマホを利用してGoogleフォームのアンケートを行ってみた。アンケートにすると関心を持って回答してくれ、皆さん理解して頂くことができたと考える。5月14日開催の第33回日医・日本臨床分科医会代表者会議で状況の説明を行う予定である。（野上副会長）

今後の日程 2025年（令和7年）

医会報告会議	4/30（水）20:00～、Zoom
第126回日耳鼻総会・学術講演会	5/27（火）～30（金）パシフィコ横浜ノース
第7回医会理事会	5/27（火）11:50～12:50 パシフィコ横浜ノース
令和6年度定時代議員会	5/27（火）13:00～14:20 パシフィコ横浜ノース
医会報告会議	6/4（水）20:00～、Zoom
医会報告会議	7/2（水）20:00～、Zoom
第8回医会理事会	7/6（日）13:00～16:00

以上で、議事をすべて終了し、令和6・7年度第6回理事会が閉会となった。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事が次に記名押印する。

令和7年4月20日

一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会

代表理事 川 寄 良 明 （法人実印）

監 事 浅 井 英 世 （印）

監 事 高 原 哲 夫 （印）

（法人実印）

（印）

（印）